

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

| | | | | | | | | |
|---------------|--|---------------|------------|---------------|------------|--|----------|--------------------------|
| No. | 7 | | | シート作成者 | - | - | | |
| 事務事業名 | 図書館利用及び貸出事業(本館) | | | 事務区分 | 自治事務 | 部課かい名 | 教育推進部図書館 | |
| 事業の目的 | 収集した図書資料を市民が利用して教養や知識を高め、教育と文化の発展を図る。 | | | 事業の目標 | | 利用者の利便性向上を意識した貸出サービスによる貸出数の増加 | | |
| 事業の概要 | 貸出や返却の利便性を高め、更に利用しやすい環境を整え、また読書相談やレファレンスサービスなどを充実する。 | | | | | | | |
| 対象 | 地域の団体や市民 | | | 事業の性質区分 | | 定例・定型 | 業務計画 | <input type="checkbox"/> |
| 指標 | 資料貸出冊数(第2次実施計画) 資料貸出点数(第3次実施計画) | | | | | | | |
| 27年度(第2次実施計画) | | 28年度(第3次実施計画) | | 29年度(第3次実施計画) | | 30年度(第3次実施計画) | | |
| 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | |
| 1,030,000冊 | 619,624冊 | 640,000点 | | 640,000点 | | 640,000点 | | |
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | ※金額については1円単位で記入してください | | |
| 事業費 | 実施計画事業費 | - | 37,393,000 | 32,392,000 | 33,359,000 | ※27年度の決算額が予算額を上回っている理由:本事業の実施にあたり、他事業の予算(消耗品費)を一部執行したため。 | | |
| | 予算額 | 34,417,000 | 37,393,000 | | | | | |
| | 決算額 | 36,026,718 | | | | | | |
| | 執行率 | 104.7% | | | | | | |
| | 従事者数 | 3.75 | 14.57 | | | | | |
| | 職員 | 2.13 | 2.19 | | | | | |
| 財源内訳 | 臨時・非常勤等 | 1.62 | 12.38 | | | | | |
| | 国庫支出金 | | | | | | | |
| | 県支出金 | | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | |
| | 一般財源 | 36,026,718 | 37,393,000 | | | | | |

2 事業実施状況に対する評価

| | |
|---|--|
| 事業の必要性 | |
| <p>本事業は、収集した図書館資料を市民が利用して教養や知識を高め、教育と文化の発展を図るものであり、教育基本計画に位置付けられた「市民が読書に親しめる環境づくり」及び「情報拠点としての図書館の充実」を実現するための根幹となる事業である。</p> <p>非常勤嘱託職員及び臨時職員を活用しているが、さらなる効率化を図るとともに行革重点推進事業に位置付けられている運営形態の検討に資するため、窓口業務を中心に業務分析を行い、常勤職員としての専門性を問われる部分の洗い出しが必要である。</p> | |
| 事業実施状況に対する分析(課題の抽出) | |
| 事業成果 | <p>第3次実施計画の指標にも位置付けられている資料貸出冊数については、全館を合計した貸出冊数が伸びている。本館単独では目標値を下回っているものの、これは、まなびの窓口やハマミナ図書室といった分室の整備により、利用者が身近な生活圏域で本を借りられるようになったため、分散化が図れたものと推測する。</p> <p>また、自主事業開催数の増加に伴い、図書館利用者数(来館者数)そのものは増えていると推測する。</p> |
| 事務効率 | <p>図書館本館においては、生涯学習の推進を図るとともに来館機会を創出するため、自主事業の数を増やしており、魅力的で質の高い事業の実施が望まれる。また、子ども読書推進事業のさらなる推進に向けて、常勤職員の専門性が、今後ますます求められる。</p> <p>本館の貸出冊数が減ったことに伴い、窓口業務のあり方を見直すことで、本来職員が行うべき業務に従事できるよう体制を整える必要がある。</p> |
| 事業成果及び事務効率に対する評価 | |
| 成果があがっているが、実施手法は効率的でない | |

3 今後の事業展開(事務改善)

| | |
|---------------|--|
| 今後の事業展開(事務改善) | |
| 改善の方向性 | 27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容 |
| 事業(活動)の効率を上げる | <p>現在の窓口業務における職員配置や職ごとの役割分担を見直し、効率的で質の高い窓口となるよう改善を図る。</p> <p>今年6月から窓口の職員配置について実験的に変更しており、その結果も踏まえつつ、他自治体の図書館における窓口業務の運営形態や職員配置についても参考にしながら、効果的な手法を探る。また、臨時職員を非常勤嘱託職員化した場合のメリット・デメリット、人件費の比較についても、合わせて行う。</p> |

4 事業を構成する活動に係る改善内容

| 事業を構成する活動(27年度) | | | | | | |
|-----------------|-----------------------------|------------|------------|----------|------------|------------|
| 項番 | 活動内容 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 | 予算額(円) | 決算額(円) |
| 7-1 | 図書館の利用者登録事務 | 登録申請受付件数 | 3,100件 | 4,652件 | 18,758,000 | 18,039,179 |
| 7-2 | 予約資料・督促等通知 | 通知発送数 | 45,100通 | 41,601通 | 2,745,000 | 4,777,801 |
| 7-3 | 図書館システム用機器(賃貸借) | 業務日数 | 308日 | 308日 | 12,914,000 | 13,209,738 |
| 7-4 | 図書館資料の貸出・返却処理、書架整理 | 貸出図書数 | 1,000,000冊 | 619,624冊 | | |
| 7-5 | 特別整理の実施 | 整理期間 | 8日 | 8日 | | |
| 7-6 | レファレンスサービス・情報機器を使用した検索・資料提供 | レファレンス件数 | 5,100件 | 3,045件 | | |
| 7-7 | 図書館資料に関する予約リクエスト業務の運営 | 予約・リクエスト冊数 | 160,000点 | 208,648点 | | |
| 7-8 | 図書館資料の複写サービス口 | 複写枚数 | 30,000枚 | 15,276枚 | | |
| 7-9 | 団体貸出文庫等への貸出 | 貸出冊数 | 10,000冊 | 33,472冊 | | |
| 7-10 | 視覚障害者への郵送サービスの実施 | 郵送の取扱件数 | 30件 | 28件 | | |
| 7-11 | 運営形態の検討 | 検討会等の開催回数 | 3回 | 4回 | | |
| 7-12 | 雑誌スポンサー制度 | 雑誌の数量 | 3冊 | 11冊 | | |
| 7-13 | 家庭配本サービス | 配送回数 | 40日 | 50日 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 27年度活動の結果を踏まえた28年度以降の改善内容 | | |
|---------------------------|--|--------------|
| 項番 | 改善内容 | 経営改善方針への位置付け |
| 7-1 | これまでどおり、適切に実施する | 位置付けない |
| 7-2 | 通知方法をはがきとしている利用者に対し、メールによる通知ができることを周知する方策を検討する | 位置付けない |
| 7-3 | これまでどおり、適切に実施する | 位置付けない |
| 7-4 | 現在の窓口業務おける職員配置や職ごとの役割分担を見直す | 位置付けない |
| 7-5 | これまでどおり、適切に実施する | 位置付けない |
| 7-6 | これまでどおり、適切に実施する | 位置付けない |
| 7-7 | 予約・リクエストに関する職員の技術、知識向上、ミス防止策を実施する | 位置付けない |
| 7-8 | これまでどおり、適切に実施する | 位置付けない |
| 7-9 | これまでどおり、適切に実施する | 位置付けない |
| 7-10 | これまでどおり、適切に実施する | 位置付けない |
| 7-11 | 図書館窓口業務運営形態を検討する | 既に位置付けている |
| 7-12 | これまでどおり、適切に実施する | 位置付けない |
| 7-13 | 家庭配本サービスに関する広報・啓発を行い市民への周知を図る | 位置付けない |
| | | |
| | | |

| 事業を構成する活動(28年度) | | | | | | |
|-----------------|---------------------------------|------------|------------|-----|------------|--------|
| 項番 | 活動内容 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 | 予算額(円) | 決算額(円) |
| 7-1 | 図書館の利用者登録事務を行う。 | 登録申請受付件数 | 3,100件 | | 20,234,000 | |
| 7-2 | 予約資料・督促等を通知する。 | はがき通知発送数 | 45,100通 | | 2,960,000 | |
| 7-3 | 図書館システム用機器を活用する。(賃貸借) | 業務日数 | 308日 | | 12,915,000 | |
| 7-4 | 図書館資料の貸出・返却処理、書架整理を行う。 | 貸出図書数 | 1,000,000冊 | | | |
| 7-5 | 館内図書の特別整理を実施する。 | 整理期間 | 6日 | | | |
| 7-6 | レファレンスサービス・情報機器を使用した検索・資料提供を行う。 | レファレンス件数 | 5,100件 | | | |
| 7-7 | 図書館資料に関する予約リクエスト業務を実施する。 | 予約・リクエスト冊数 | 160,000点 | | | |
| 7-8 | 図書館資料の複写サービスを行う。□ | 複写枚数 | 30,000枚 | | | |
| 7-9 | 団体貸出文庫等への貸出業務を行う。 | 貸出冊数 | 10,000冊 | | | |
| 7-10 | 視覚障害者への郵送サービスを実施する。 | 郵送の取扱件数 | 30件 | | | |
| 7-11 | 運営形態を検討する。 | 検討会等の開催回数 | 3回 | | | |
| 7-12 | 雑誌スポンサー制度を実施する。 | 雑誌の数量 | 3冊 | | | |
| 7-13 | 家庭配本サービスを実施する。 | 配送回数 | 40日 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

[illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

| | | | | | | | |
|---------------|---|---------------|-----------|-----------------------|-----------------------------------|---------------|----------|
| No. | 13 | | | シート作成者 | - | - | |
| 事務事業名 | 視聴覚資料事業 | | | 事務区分 | 自治事務 | 部課かい名 | 教育推進部図書館 |
| 事業の目的 | CDやDVDなどの視聴覚資料を収集する。 | | | 事業の目標 | 地域の団体や市民へ貸出を行うことにより、市民の学習活動を支援する。 | | |
| 事業の概要 | 市民の要望を把握し、視聴覚資料の収集及び貸出を行う。 | | | | | | |
| 対象 | 地域の団体や市民 | | | 事業の性質区分 | 定例・定型 | 業務計画 | ■ |
| 指標 | CD、DVDおよびビデオテープ貸出点数(第2次実施計画) 映画会の実施回数(第3次実施計画) | | | | | | |
| 27年度(第2次実施計画) | | 28年度(第3次実施計画) | | 29年度(第3次実施計画) | | 30年度(第3次実施計画) | |
| 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 |
| 88,000点 | 59,590点 (37回) | 37回 | | 37回 | | 37回 | |
| | | | | ※金額については1円単位で記入してください | | | |
| 事業費 | 27年度 | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | | |
| | 実施計画事業費 | | - | 2,159,000 | 1,775,000 | 1,583,000 | |
| | 予算額 | | 2,159,000 | 2,159,000 | | | |
| | 決算額 | | 2,120,584 | | | | |
| | 執行率 | | 98.2% | | | | |
| | 従事者数 | | 0.56 | 0.51 | | | |
| 財源内訳 | 職員 | 0.56 | 0.51 | | | | |
| | 臨時・非常勤等 | | | | | | |
| | 国庫支出金 | | | | | | |
| | 県支出金 | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | |
| | その他 | 664,000 | 1,673,000 | | | | |
| | 一般財源 | 1,456,584 | 486,000 | | | | |
| | | | | | | | |

2 事業実施状況に対する評価

| | |
|--|--|
| 事業の必要性 | |
| <p>CDやDVDなどの視聴覚資料を地域の団体や市民へ貸し出すほか、図書館において映画会を開催し、市民の生涯学習活動を支援するものである。</p> <p>一方で、16ミリ映写機やフィルムなどの視聴覚資料については、湘南視聴覚ライブラリー協議会の廃止・解散やDVD等の新しいメディアへの移行に伴う例規整備及び機材の劣化等に伴う廃棄・整理が未着手となっている。</p> | |
| 事業実施状況に対する分析(課題の抽出) | |
| 事業成果 | 第2次実施計画の指標となっているCD、DVD及びビデオテープの貸出点数は目標値を下回っている。DVD等の映像資料については、図書館向け(著作権処理済み)の資料が高額であり、新規に購入できる点数に限りがあることから、個人貸出の点数を伸ばすことには限界がある。このことから、映像資料を館内上映することができる図書館機能を生かし、映画会を通じてより多くの市民に提供することとしたため、第3次実施計画においては、指標を映画会の実施回数に変更し、さらなる成果を見込むこととした。 |
| 事務効率 | 2階の視聴覚資料室では、16ミリ映写機やフィルム等の中で、使用不能となっている機材や消耗品がそのまま保管されている。行政財産を適正に管理する点においても、真に必要な備品・消耗品を維持管理するとともに、保管についても限られたスペースを有効活用することが必要である。また、これらを整理することで生じた場所を、ボランティア団体の活動スペースなどにすることで、さらなる有効活用が期待できる。 |
| 事業成果及び事務効率に対する評価 | |
| <p align="center">成果があがっているが、実施手法は効率的でない</p> | |

3 今後の事業展開(事務改善)

| | |
|---------------|---|
| 今後の事業展開(事務改善) | |
| 改善の方向性 | 27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容 |
| 事業(活動)の効率を上げる | <p>例規点検の機会を活用しながら、必要に応じて視聴覚資料に関する例規整備を行う。</p> <p>自館及び他自治体の状況を調査し、需要の少ない団体貸出用機材の除籍を行うとともに、台帳を整理する。</p> |

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

| | | | | | | | | |
|---------------|--|---------------|-----------|---------------|------------------|-----------------------|----------|---|
| No. | 17 | | | シート作成者 | - | - | | |
| 事務事業名 | 子ども読書活動推進事業 | | | 事務区分 | 自治事務 | 部課かい名 | 教育推進部図書館 | |
| 事業の目的 | 子ども達が自主的に読書活動に取り組むことができるような環境を進めるとともに社会的な機運を醸成するための普及啓発 | | | 事業の目標 | 子どもの健やかな成長に資すること | | | |
| 事業の概要 | 子ども読書活動の普及と啓発のために、家庭での読み聞かせが行えるよう、読み聞かせの方法と絵本の配布を乳幼児とその保護者に行うブックスタートや学校図書館等との連携事業を実施する。併せて、本事業には、ボランティアの協力が必要であり、ボランティア団体の育成と資質の向上のため研修等を実施する。 | | | | | | | |
| 対象 | 地域の団体や市民 | | | 事業の性質区分 | 定例・定型 | | 業務計画 | ■ |
| 指標 | ブックスタートバック配布数(第2次実施計画) ブックスタートバック配布率(第3次実施計画) | | | | | | | |
| 27年度(第2次実施計画) | | 28年度(第3次実施計画) | | 29年度(第3次実施計画) | | 30年度(第3次実施計画) | | |
| 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | |
| 1, 800バック | 1, 498バック (79%) | 80% | | 80% | | 80% | | |
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | ※金額については1円単位で記入してください | | |
| 事業費 | 実施計画事業費 | - | 2,632,000 | 2,164,000 | 1,931,000 | | | |
| | 予算額 | 2,632,000 | 2,632,000 | | | | | |
| | 決算額 | 2,624,895 | | | | | | |
| | 執行率 | 99.7% | | | | | | |
| | 従事者数 | 1.26 | 1.5 | | | | | |
| | 職員 | 1.26 | 1.5 | | | | | |
| 財源内訳 | 臨時・非常勤等 | | | | | | | |
| | 国庫支出金 | | | | | | | |
| | 県支出金 | | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | |
| | 一般財源 | 2,624,895 | 2,632,000 | | | | | |

2 事業実施状況に対する評価

| | |
|--|--|
| 事業の必要性 | |
| <p>第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画に基づき、読書のよろこびを子どもたちに届け、また、読書に親しむ環境づくりを進めるために、関係する主体が連携して子どもの読書活動を推進するものである。また、子どもの読書活動に関する情報提供と啓発を行い、家庭における読書活動の推進やおはなし会をはじめとする事業への参加を進めていく。</p> | |
| 事業実施状況に対する分析(課題の抽出) | |
| 事業成果 | 子ども読書活動推進事業においては、ブックスタート事業だけでなく様々な事業を実施している。第2次実施計画の指標としたブックスタートバック配布数は、目標値を下回っているが、対象人数が毎年変わるため、第3次実施計画においては、配布数の設定ではなく、目標値を対象者の80%とした。ただし、ブックスタートバック配布数イコール成果ではない。ブックスタートにより絵本を受け取った子どもたちが、おはなし会、図書館見学、職場体験受入れ等の様々な体験により、読書の機会を増やすことで読書のよろこびを得て、将来的に読書活動を継続できるようになっていくことが求められる。その点では、目標値を上回る活動を複数実施することができた。 |
| 事務効率 | 第2次子ども読書活動推進計画においても、ブックスタートだけでなく、ブックトークやおはなし会等のさまざまな事業により子どもの読書活動を推進する取組を行っている。しかしながら、これらの事業には、手間をかけて実施しなければならないものが多い。図書館の職員だけでは事業実施に限りがあるため、学校連携やボランティアの育成は特に課題である。 |
| 事業成果及び事務効率に対する評価 | |
| <p align="center">成果があがっているが、実施手法は効率的でない</p> | |

3 今後の事業展開(事務改善)

| | |
|---------------|--|
| 今後の事業展開(事務改善) | |
| 改善の方向性 | 27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容 |
| 事業(活動)の成果を高める | <p>現在、図書館職員が各子育て支援センター等へ出向き、出張おはなし会を行っている。児童サービス担当の職員が講師となって講習を行うノウハウも身につけたので、今後は、子育て支援センター、児童クラブ等の職員向けに読み聞かせなどの研修や指導を実施し、自らが学んだ成果を実践できるよう支援する。</p> <p>また、読み聞かせに関連する講座については、一般(初級)、一般(経験者)、支援者養成(初級)、支援者養成(経験者)と段階を踏んで学べるようにしているが、更に子どもの読書に関わるボランティアが活躍できるような登録・派遣及び支援システムについて検討していく。</p> <p>第3次実施計画よりNo.18「学校図書館との連携事業」と統合した。</p> |

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]